カタール通信 ORYX
第8号　8月発行
文責 ドーハ日本人学校
榊原 範久

今回はカタールの観光名所の美術館「イスラミックアートミュージアム」を紹介します。

アラブの秘宝を集めた美術館

カタールを含むアラビア半島は、古くはメソポタミア文明に始まり、ペルシャ帝国やイスラム帝国など非常に歴史ある土地だと言えます。カタールはその貿易の要所を担っていました。そのような歴史あるアラビア半島のお宝を集めた美術館がカタールにあります。その名も「イスラミックアートミュージアム」。特徴はこの一風変わったデザインです。設計したのはルーブル美術館のピラミッド型の建物を設計したことでも有名な建築家 I.M.ペイ。建設にはかなりの費用を要したと言われていますが、それが成せるのもさすが財政豊かなカタールです。

ゴージャスな外装と内装

まず目を引くのがこの外装です。美術館自体が一つの大きな作品のようです。中は５階まで吹き抜けになっており、ガラスから差し込む光が、アラビック模様のタイルを照らし、雰囲気を引き立てています。

イスラミックアートミュージアムの展示品の数々

展示品の中心はアラビア半島由来の物ですが、中にはイランやトルコ、ヨーロッパなどから集めた物も多数あります。写真ではその迫力が伝わり切りませんが、展示品の一部を紹介します。

館内はすべて撮影可という太っ腹な美術館です。イスラム教は原則的に偶像崇拝が禁止されているので、人物の肖像画などはほとんどありません。歴代のアラブの王様たちが集めたお宝を展示したこのイスラミックアートミュージアムはなかなか見応えがあります。